

強固な下地と防水性を実現する

進化したサーフェーサー

エポで下地を
強固に

弾性塗膜で
優れた
防水性

コンクリートの
中性化を抑制

一液水性弾性エポキシ樹脂系サーフェーサー

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

水性弾性サーフェエポ

JIS A 6909 建築用仕上塗材
可とう形改修塗材 RE 認証取得製品
(水性弾性サーフェエポ)

建物は外的要因により劣化します。 適切な塗り替えが必要です。

外壁表面の仕上材の劣化が進み、そのまま放置すると、躯体／コンクリート躯体への影響がでてきます。クラック、ひび割れなど、そのままにしていると建物全体の寿命を縮めてしまいます。また、壁の欠損やコンクリートの中酸化進行が深刻な問題にならないうちに、定期的な診断と計画的な塗り替えが必要となります。

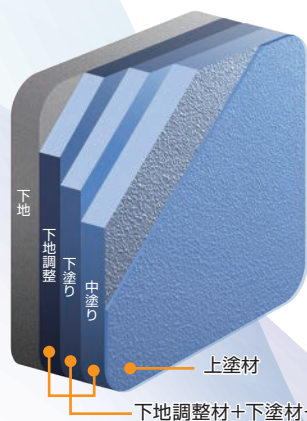


LCC 低減時代へ対応する進化系下塗材



現在、都市部を中心にマンションの高層化が進む中、メンテナンスサイクルを伸ばし、LCC(ライフサイクルコスト)を低減していくことが求められています。

水性弾性サーフェエポは、幅広い上塗り適正を示すため、高耐候性の上塗材を採用することにより、LCCの低減に貢献します。また、建物の長寿命化を図る超耐久サーフェーサーとしてふさわしい改修下塗材です。



第一世代

工程が多い

複層塗材の塗り替え工程は、下地調整、下塗り、中塗り、上塗りの順で塗装されます。

第三世代

エポキシ樹脂の強靱な塗膜でさらに性能を向上！



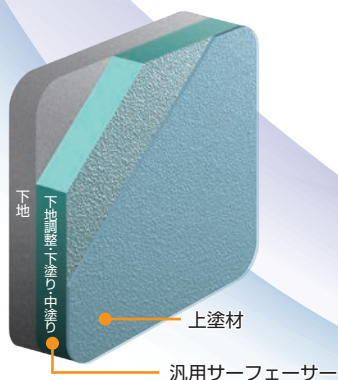
中性化抑制、優れた耐久性、ひび割れ追従性。

水性弾性サーフェエポは、エポキシ樹脂の強靱かつ柔軟な塗膜により、堅固な付着性、ひび割れ追従性を発揮し、コンクリートの中酸化を抑制します。また、幅広い上塗り適正により、高耐候性の上塗材を採用することでLCCの低減に貢献します。

第二世代

工程短縮を実現

可とう形改修塗材（サーフェーサー）の登場により、塗り替え工程の短縮が実現。



エポキシ樹脂の架橋塗膜により、 付着性、ひび割れ追従性、 躯体保護に優れた性能を発揮！

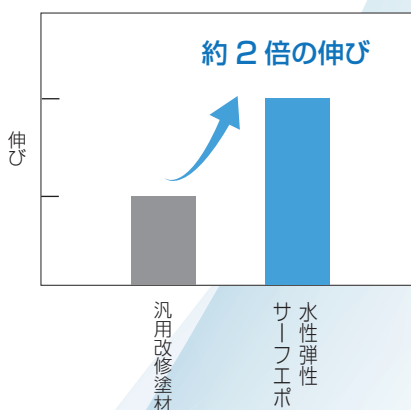
特長 Strong Point



ひび割れ追従性

コンクリートや塗膜は劣化の進行により、ひび割れを生じます。水性弾性サーフェスの強靱且つ柔軟な塗膜は、弾性機能を有しているため、旧塗膜に発生しているひび割れを充填し、防水性を向上させます。

■伸び試験(ゼロスパンテンション試験)



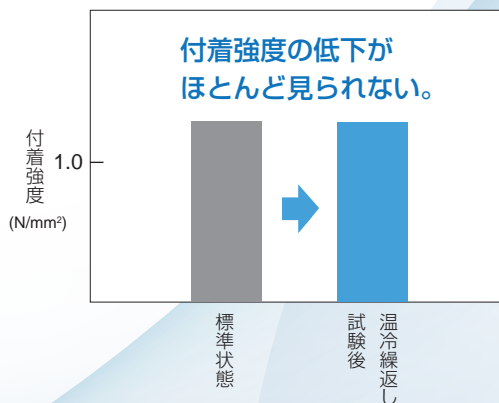
【試験方法】
V カットを入れたフレキシブル板に下塗材と可とう形改修塗材を塗装し、乾燥養生したものを試験体とする。試験体をオートグラフにて上下に引っ張り伸びを測定する。



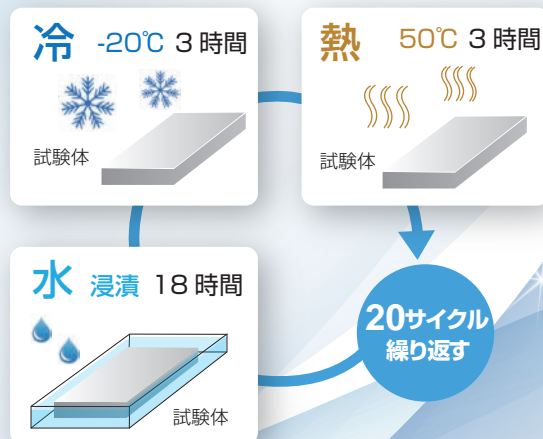
高耐久性

熱や水などの劣化要因に対しても強い抵抗性があり、加熱や水浸漬の繰り返し試験後においても優れた付着性を維持し、高い耐久性を示します。

■付着強度の比較



【試験方法】
JIS A 6909 の付着強さ試験に準拠して付着強度を測定。試験体を複数準備し、一方を標準状態で測定、もう一方を図に示す温冷繰返し試験後に測定し、温冷及び水浸漬による負荷を加えた後の付着強度を比較することにより耐久性を評価する。



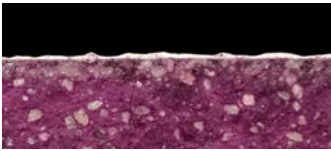
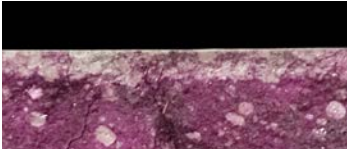
図・温冷繰返し試験

水性弾性サーフエポは、 コンクリートの中酸化を抑制し、建物を守ります。

■ 中性化抑制

水分や炭酸ガスの浸入を防ぎ、コンクリートの中酸化を抑制し、コンクリート躯体の保護に効果を発揮します。美観のためだけでなく、躯体保護のためにも塗り替えが必要です。

■ 中性化促進試験（社内法）

水性弾性サーフエポ	未塗装
	
中性化が抑制されている	中性化の進行が見られる

水性弾性サーフエポを塗布したもの、未塗装のもの、2種類にて中性化促進試験を行った結果。

鉄筋の露出



コンクリートは、炭酸ガスにより中性化が進み劣化します。中性化が進行すると、コンクリート内のアルカリ性が消失し、中性化が鉄筋表面に達し、鉄筋爆裂が生じます。

■ 幅広い付着適用性

各種旧塗膜や、各種の弾性仕上塗材（水性・弱溶剤形）と強固に付着するため、塗り替え工事に幅広く対応できます。下地への付着性に優れ、長期に亘って付着力の低下を生じません。

■ 工期の短縮

一つの材料で「下地調整機能」「下塗り機能」「中塗り機能」を兼ね備えているため、工期の大幅な短縮につながります。

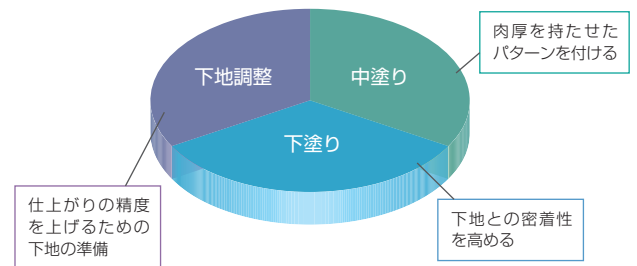
■ 防かび・防藻性

特殊設計により、防かび・防藻機能を発揮することで、衛生的な環境を維持します。

■ 一液水性

内部架橋タイプの水性特殊エポキシ樹脂の採用により、臭気が少なく安全な製品を実現しました。

水性弾性サーフエポの役割



推薦する上塗材

【水性】

超低汚染・超耐候

- スーパーセラタイト F (ふっ素樹脂系)
- ★水性弾性セラタイト F (ふっ素樹脂系)
- ★水性弾性セラタイト Si (アクリルシリコン樹脂系)

低汚染・超耐候

- エスケーププレミアムシリコン (ハイブリッドシリコン樹脂系)
- エスケープ弾性プレミアムシリコン (ハイブリッドシリコン樹脂系)
- 水性弾性セラミシリコン (セラミックシリコン樹脂系)

高耐候

- 水性弾性コンポウレタン (ポリウレタン樹脂系)

【弱溶剤形】

超低汚染・超耐候

- ★弾性クリーンマイルドフッソ (ふっ素樹脂系)
- ★弾性クリーンマイルドシリコン (アクリルシリコン樹脂系)

超低汚染・高耐候

- ★弾性クリーンマイルドウレタン (ポリウレタン樹脂系)

- ※1. この他、汎用の水性上塗材 SK水性ELコート(アクリル樹脂系)もご使用いただけます。
- ※2. 上記製品を使った仕様について、詳しくは別途最寄りの営業所へお問い合わせください。
- ※3. 上記製品は、JIS A 6909 可とう形改修塗材 RE の上塗材です(艶有りが対象)。
- ※4. 防水形仕上げ仕様には、上塗材としてエスケーププレミアムシリコン、スーパーセラタイトFは適用できません。
- ※5. 水性弾性サーフェポには、強溶剤タイプの上塗材はご使用いただけませんのでご注意ください。

性能試験成績表

JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 RE による物性結果

試験項目	結果	品質
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離・凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがない。
付着強さ(N/mm ²)	標準状態	1.3 1.0以上
	浸水後	1.3 0.7以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性B法(m ²)	0.1	0.5以下
耐衝撃性	合格	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。
ひび割れ充てん性	合格	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がない。
耐候性A法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。
可とう性	合格	ひび割れがない。

適用下地

旧塗膜：エマルジョンペイント、リシン、スキン、スタッコ、吹付タイル(硬質・弾性)、単層弾性塗材などの活膜下地

※下地に欠陥のある場合、適切な下地補修が必要です。また、旧塗膜は活膜下地(付着強さ0.7N/mm²以上)が対象です。

※スキンの改修については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

荷姿

- 水性弾性サーフェポ ——— 16kg 石油缶
(可とう形改修塗材 RE 仕様 10~53m²/缶、防水形仕上げ仕様 6~7m²/缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
特に★印のついている製品(☆は硬化剤のみ)は溶剤形のため、下記の点に注意してください。

- 1) 引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 2) 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクなどの安全対策を行ってください。
- 3) 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように充分注意してください。

※ 屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。
詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。
塗直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



コープ野村クローバーシティ与野



セントラルコープ船橋



標準施工仕様

●可とう形改修塗材RE仕様

●共通項目

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	●旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダーおよび皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファントKC-1000などのセメント系下地調整材で段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、この場合、水性の上塗材を用いる際は水性ミラクシーラーエゴを、弱溶剤形の際は★マイルドシーラーEPOをご使用ください。 ●高圧洗浄（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							-

●薄付け仕上げ

1	下塗り	※1,2 水性弾性サーフエポ	100	0.3~1.0	1~2	3以上	16以上	-	●ローラー(ウールローラー) ●刷毛 ●エアレススプレーガン 吐出量：800~1000 ml / 分 パターン幅：25~30cm ●リシンガン 口径：4~6mm 圧力：392~588kPa(4~6kgf/cm ²)
		清 水	6~10	-					

●厚付け仕上げ

1	下塗り	※1,2 水性弾性サーフエポ	100	0.8~1.5	1~2	3以上	16以上	-	●M-9 ローラー (マッシュクローラー)
		清 水	3~5	-					

※1) 水性弾性サーフエポの所要量は、薄付け仕上げの場合0.3~1.0kg/m²、厚付け仕上げの場合0.8~1.5kg/m²となります。

※2) 上塗材に水性製品を使用する場合は、工程間間隔時間が3時間以上(薄付け仕上げ)または6時間以上(厚付け仕上げ)になります。詳しくは別途お問い合わせください。

●防水形仕上げ仕様

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考	
					工程内	工程間	最終養生		
下地調整	●旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダーおよび皮スキ、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファントKC-1000などのセメント系下地調整材で段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、この場合、水性の上塗材を用いる際は水性ミラクシーラーエゴを、弱溶剤形の際は★マイルドシーラーEPOをご使用ください。 ●高圧洗浄（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							-	
1	下塗り	水性弾性サーフエポ	100	2.2~2.6	2	6以上	16以上	-	●M-9 ローラー (マッシュクローラー)
		清 水	3~5	-					

●水希釈率と塗装器具の関係

用 途	塗装器具	水希釈率 (重量比%)
既存塗膜のパターンを生かす (薄付け仕上げ)	刷毛・ウールローラー・SPローラー・リシンガン・エアレススプレーガン	6~10
既存塗膜のパターンを消し、ローラー模様を付ける (厚付け仕上げ)	M-9 ローラー (マッシュクローラー)	3~5

施工上の注意点

- 旧塗膜は活膜(付着強度 0.7N/mm²以上)であることが条件です。
- 旧塗膜の状態により、シーラー(例：★ミラクシーラー ES、水性ミラクシーラーエゴ)や目荒らしが必要な場合があります。
- 水性ミラクシーラーエゴは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性がある部位への施工は避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- 上塗りに超低汚染塗料(スーパーセラタイト F、☆水性セラタイトシリーズ、★クリーンマイルドシリーズ)や低汚染塗料(水性セラミシリコンシリーズ)をご使用の場合、必ず専用のパンフレットに記載の注意事項をよくお読みください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 軽量モルタル、ALC パネル、高断熱型窓枠サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの営業所にご相談ください。
- 改修工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異常が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、SKK カビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 上塗り工程では、刷毛で補修塗りを行い、スプレー塗りやローラー塗り仕上げ肌との違いにより色目に若干の差を生じることがあります。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 露出鉄筋部の処理でアルカリ付与剤を施した場合、その影響で塗膜の剥離を生じることがありますので、シーラー工程が必要になります。
- 塗膜の膨れ、剥離、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5℃以下、(湿度 85%以上)での施工は原則的に避けてください。気温 5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を 5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- 公共建築改修工事標準仕様につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601

国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411 名古屋支店 ☎052-561-7712 神戸支店 ☎078-671-0451
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391 京都支店 ☎075-646-3987 広島支店 ☎082-943-5043
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400 大阪支店 ☎072-621-7721 福岡支店 ☎092-629-3427

旭川営業所 ☎0166-51-8094 宇都宮営業所 ☎028-633-9721 横浜住宅機器営業所 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722 北九州営業所 ☎093-621-8505
仙台住宅機器営業所 ☎022-388-8518 東京第一第二営業所 ☎03-3204-6601 厚木営業所 ☎046-294-3686 大阪住宅機器営業所 ☎072-621-7747 福岡営業所 ☎092-622-5561
青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅機器営業所 ☎03-3204-6602 静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910 福岡住宅機器営業所 ☎092-622-5562
盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411 浜松営業所 ☎053-482-7021 神戸住宅機器営業所 ☎078-671-0451 大分営業所 ☎097-555-9081
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅機器営業所 ☎043-304-0413 三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路出張所 ☎079-281-5311 長崎営業所 ☎095-897-0871
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391 北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520 熊本営業所 ☎096-344-5650
群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉住宅機器営業所 ☎048-686-1588 名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島住宅機器営業所 ☎082-943-5053 鹿児島営業所 ☎099-284-5321
長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3677-7770 松山住宅機器営業所 ☎052-561-7712 山口営業所 ☎083-924-7575 宮崎出張所 ☎0985-61-7779
松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806 岐阜営業所 ☎058-273-1981 高松営業所 ☎087-865-5411 沖縄営業所 ☎098-862-5041
水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400 三重営業所 ☎059-236-5101 松山出張所 ☎089-968-7240

大利根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様が有る場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

【製作年月:2017年4月】(170415.Y-9)